

ペン機能を使って板書しましょう



従来通りの授業も、アクティブボードに板書することで全ての内容が簡単に保存できます。

次の授業での振り返りに、前時の板書の内容が使えます。

また、板書した内容を後から色の変更・位置の移動・サイズの変更等ができるので、より自由度の高い板書ができるようになります。

使う機能

ペントール、消しゴムツール、元に戻すツール、ゴミ箱、クリアツール、選択ツール、前のページ・次のページツール

1. 新規ファイルを開く

ActivInspire を起動すると自動的に白い画面の新規ファイルが開きます。

既に ActivInspire を起動していて、他のファイルを開きたいときには、



[メインメニュー]→[ファイル]→



[新規フリップチャート]を選択します。

2. 色と太さを選ぶ



ペントールをクリックします。アイコンの色が他のアイコンより薄くなっていることを確認します。



カラーパレットから色を選びます。



選んだ色の周りが黒く表示されます。



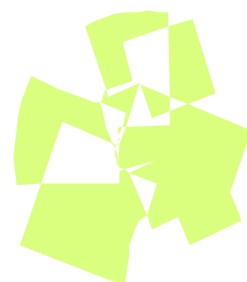
太さ選択ボタンから太さを選びます。




太さ選択スライダーを使うとさらに多くの

3. 書く

白い画面の上にペン先をやや押しつけるつもりで書きます。右利きの方は右側から、左利きの方は左側から操作すると、プロジェクトの影が気になりにくくなります。




4. 書いた後で加工する


 選択ツールをクリックします。クリック&ドラッグして加工したい板書を選択します。

ペンツールで書き込んだオブジェクトを選択してカラーパレットの色や太さ選択ボタンをクリックすると、色や太さが編集できます。

板書した文字(以下オブジェクト)を選択するとオブジェクトの周囲にアイコンが現れます。主なアイコンの機能は以下の通りです。

 オブジェクトを移動


 オブジェクトを回転


 縦横比を保持したままサイズを変更

5. 消す


 消しゴムツールをクリックし板書した文字の上をクリック&ドラッグ


 元に戻すツールをクリック。保存した時点まで操作を戻せます。

 選択ツールでオブジェクトを選びゴミ箱をクリック&ドラッグ。

 ページ上のオブジェクトをレイヤー毎にまとめて消去できます。

6. ページをめくる

 次のページツールをクリックすると、自動的に新しいページが今開いているページの後ろに追加されます。

 前のページツールをクリックすると、ファイル内の前のページに戻ります。